

平成28年度 基本評価調書

施策名	自然環境及び生活環境の保全	所管部局	環境生活部	作成責任者	環境生活部長 小玉 俊宏	施策コード	03	01
		照会先	環境政策課環境企画グループ24-216 生物多様性保全課生物多様性保全グループ24-361	関係課	環境政策課、生物多様性保全課			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定(その1)

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)	総合計画の指標		
			1 生活・安心	(3) 豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	豊かな自然の価値・恵みの保全と次代への継承	環境基準達成率(大気汚染、水質汚濁)	
	北海道創生総合戦略		北海道強化計画	B4311,B4312	新・北海道ビジョン C00509,C08601,C08602,C08603,C08707		
	特定分野別計画等	北海道環境基本計画[第2次計画]改定版、北海道地球温暖化対策推進計画、北海道水素社会実現戦略ビジョン、第3期道の事務・事業に関する実行計画、北海道の水資源保全に関する基本方針、北海道水道ビジョン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る健全な水循環確保のための基本方針、北海道湖沼環境保全基本指針、北海道の化学物質問題に関する取組方針、北海道環境教育等行動計画、北海道循環型社会形成推進基本計画[改訂版]、北海道廃棄物処理計画[第4次]、北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画、北海道海岸漂着物対策推進計画[第2次計画]、北海道生物多様性保全計画、北海道希少野生動植物種保護基本方針、北海道外来種対策基本方針、知床世界自然遺産地域管理計画、北海道湿原保全マスタープラン、第11次北海道鳥獣保護管理事業計画、北海道エゾシカ管理計画[第4期]、北海道ヒグマ保護管理計画、北海道アザラシ管理計画、北海道動物愛護管理推進計画					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本道の豊かな自然環境は、優れた観光資源や基幹産業である農林水産業の基盤となっているが、過度な開発行為や動植物の乱獲などにより、多くの生物が絶滅の危機に瀕している状況にある。 その一方で、急増したエゾシカやトドなどの野生鳥獣や人為的に持ち込まれた外来種の分布拡大は、農林水産業への被害や人身事故の発生だけでなく、本道の生物多様性の保全にも悪影響を与えるなど、大きな脅威となっている。 こうした現状を踏まえ、本道の豊かな恵みを将来にわたって享受できるよう生物多様性の保全や持続可能な利用に向けた取組を総合的に進めていく必要がある。 大気・水環境などの生活環境は概ね良好な状態を維持しているが、閉鎖性水域における環境基準達成率が低いなどの課題もあり、継続的な対策が必要である。 道民生活を支える水道について、施設の防災対策や被災時の応急体制の整備を図る必要がある。 		施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 本道の自然公園や自然環境等保全地域、知床世界自然遺産、ラムサール条約湿地など、すぐれた自然環境の価値を見つめ直し、本道の貴重な資産として後世につなげるため、その保全や適正利用を促進する。 生物多様性保全の観点から、人と自然の共生を基本とした自然環境の保全と創造を進める。 大気・水環境など地域の環境を良好な状態に維持するとともに、環境悪化の未然防止を図り、道民の健康保護及び生活環境の保全を目指す。 水道施設の整備や広域連携の促進などにより、安全で安心な水道水の安定かつ持続的な供給を目指す。 			
施策の推進体制 (役割・取組等)	【自然環境の保全と適正な利用】 [国] 関係法令の整備、国立公園等の保全、適正な利用の推進及び施設整備 [道] 条例の整備 国立公園、道立自然公園等の保全、適正な利用の推進及び施設整備 [市町村] 国、道と連携した自然公園等の保全、適正な利用の推進及び施設整備 [知床自然遺産] [道・国・市町村] ・関係法令により、国、道、地元がそれぞれ義務として定められている業務については、当該機関が担当する。法令により義務として定められていない業務については、関連する法令を所管している機関が原則対応する。 ・関係法令が準用できない業務については、所管するエリアにより対応する。 [国] 国立公園内に係る業務 [道] 知床周辺地域を含めた広域的エリアに係る業務 [市町村] 地元町内に係る業務			【生物多様性の保全】 [道] 計画に基づく施策の総合的推進、市町村への支援、道民への普及啓発 [市町村] 地域固有の動植物や景観の保全、NPO・NGOへの支援、地域住民に対する普及啓発 [事業者] 環境に負荷をかけない経済活動、生物多様性保全施策への協力、NPO・NGOへの支援 (NPO・NGOなど) 地域における生物多様性保全活動の主体、環境教育に対する支援、道の取組への協力 【生活環境の保全】 [道・市町村] 大気環境、騒音、水環境等の常時監視 工場・事業場等への立入検査、監視指導 地域関係団体の活動支援 など [民間] NPOや企業等による自然保護活動 など [水道施設の防災対策等] [道] 水道事業者等に対する指導・助言 など [市町村] 施設の老朽化対策、応急給水体制の整備、周辺の水道事業者との連携 など		施策の予算額(千円)	
		H27	535,128				
		H28	2,193,526				
		H29	-				

今年度の
主な取組

：主要指標に
係る取組
：業務推進取組
：係る取組
：その他の取組

- 知床世界自然遺産など優れた自然環境の保全。
- 自然公園の適正な利用のための施設の整備・維持管理。
- 新たに制定した知床世界自然遺産条例の普及啓発。
 - 大気汚染を防止するため、大気環境の常時監視、ばい煙発生施設等への立入検査、有害大気汚染物質調査、アスベスト対策などを実施。
 - 化学物質汚染の未然防止を図るため、ダイオキシン類の常時監視や工場等への立入検査、PRTR制度に基づく化学物質の取扱量の把握などを実施。
- 公共用水域や地下水の常時監視、事業場への立入検査や監視・指導
 - 「健全な水循環の確保のための流域環境保全計画づくりガイド」や環境に関心の高い企業との協働事業である「北海道e-水プロジェクト」などを活用した地域関係団体への活動支援
 - 水道事業者等に対する水質監視等の指導・助言
 - 水道施設の更新や維持管理などの老朽化対策や応急給水体制の整備促進

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果	(関連する計画等)		
	実 績 と 成 果 等	総合戦略	強靱化
<p>・国や地元自治体等と連携・協力して、知床の自然環境を保全・管理するため、科学委員会海域WGの開催やサケ科魚類遡上状況調査及び河川工作物改良効果確認事前調査等を実施した。</p> <p>また、知床自然世界遺産登録10周年記念式典を開催するなどにより自然環境の保全に係る機運の醸成を図ったほか、パネル展を開催(H28.5～7月計4回)してすぐれた自然環境の保全について普及啓発を図った。</p> <p>・自然公園や鳥獣保護区等の適切な保護・利用を図るため、平成28年度には自然保護監視員144名、鳥獣保護管理員287名、生物多様性保護監視員248名を配置し保全監視や利用者指導業務を進めるなど、自然環境の保全を推進した。</p> <p>・北海道知床世界自然遺産条例の制定については、パンフレットの配布やHPを通じて普及啓発を図った。</p>			C00509,C08601,C08602,C08603,C08707
<p>・国立、国定及び道立自然公園の適正な利用と景観保全を図るため、平成27年度は暑寒別天売焼尻国定公園、野付風蓮道立自然公園の公園計画の見直しを行ったほか、野付風蓮道立自然公園の木道の災害復旧工事など7施設での補修・改良を実施した。</p> <p>また、自然公園内行為に係る現地調査、巡視を実施し、スノーモビル等の乗り入れ規制地区における案内標識、制札の設置・更新や大雪山国立公園利用者への指導を行い、適切な維持管理を推進した。</p>			C00509,C08601,C08602
<p>・大気汚染防止法に基づく立入検査2,445施設(H26)、有害大気汚染物質(ベンゼンなど21物質)のモニタリング調査、アスベスト対策(解体現場への立入検査(H26 347件))等により、大気汚染の防止を推進した。</p>			
<p>・平成26年度はダイオキシン類の調査測定を97箇所を実施(環境基準達成率100%)して確認している他、廃棄物焼却施設などの特定施設を対象にダイオキシン特別措置法に基づく立入検査を実施したり、化学物質の排出量の把握を促進するなどにより、化学物質汚染の未然防止を推進した。</p>			
<p>・公共用水域(H27:98水系 506地点)や地下水(H27:64市町村 315井戸)の常時監視を行い水質を把握しているほか、水質汚濁防止法に基づく事業場への立入検査(H27:805事業場 853回)や指導を行うなどして、水環境の保全対策を推進した。</p>			C08707
<p>・「北海道e-水プロジェクト」において、平成28年度は8団体に対して7,415千円の助成を採択したところであり、各種河川流域での水生昆虫調査や、一斉清掃、フォーラムなどの環境学習が実施されており、水辺での環境保全活動の推進が図られている。</p> <p>・また、平成27年に「別寒辺牛川・ホマカイ川流域環境保全協議会」が、平成28年には「網走川流域の会」がそれぞれ流域環境保全計画を策定し、e-水プロジェクトを活用しながら健全な水循環の確保に向けた取組が進められている。</p>			C08707
<p>・安全で安定した水道水の供給を確保するため、水道法に基づく現地指導、協議、水質検査等を行った。(H27:変更認可6件、変更(廃止)届10件、廃止許可2件、給水開始届20件、立入検査756カ所、水道法に基づく水質検査3,523件、簡易専用水道の定期検査537件)</p>			
<p>・災害や老朽化に伴う断水事故の未然防止などのため、施設の耐震化や更新、広域化などを進めている。(H27:水道施設整備費国庫補助金:基幹改良23市町村32事業、生活基盤施設耐震化等交付金:24市町村37事業)</p> <p>しかしながら、水道施設整備費国庫補助金及び生活基盤施設耐震化等交付金は要望額に対して十分に措置されず、一部延伸等を余儀なくされていることから、様々な機会に国に対して満額措置等を要望し、計画的な老朽化対策を推進している。</p> <p>・市町村等の担当者に対する災害に関する研修を実施するとともに、水道関係団体が主催する災害訓練への参加等により、応急給水体制の整備促進等を図っている。</p>		B4311,B4312	

(2) その他の取組の成果等

<p>国等提案・要望状況</p>	<p>・PM2.5が高濃度となった場合、速やかに注意喚起できるよう、常時監視体制を確立するため、環境省に対し、自動測定機導入に係る財政支援、広域的シミュレーションモデルの早期構築について要望を行った。(平成27年7月)</p> <p>・水道施設の耐震化や更新などを計画的に進めるため、厚生労働省及び国土交通省に対し、水道施設整備費国庫補助金及び生活基盤施設耐震化等交付金の所要額の確保、交付金事業の対象範囲の拡大などについて要望を行った。(平成27年7月、平成28年8月)</p> <p>・エゾシカやトド、アザラシなどによる生態系等への影響に係る対策のため、環境省、農林水産省、警察庁等に対し、狩猟者に対する負担軽減、エゾシカによる森林被害対策の充実、トド等の海獣による被害対策の充実・強化、アザラシ類の管理推進と被害防止対策の確立などについて要望を行った。(平成27年7月、平成28年8月)</p> <p>・生物多様性を保全するため、環境省、農林水産省に対し、地域が行う取組に対する支援の拡充、国・地方公共団体等が行う外来種対策の推進、国内希少種タンチョウの保護管理の推進、希少猛禽類の鉛中毒対策の推進等について要望を行った。(平成27年7月、平成28年8月)</p> <p>・水道施設の耐震化や更新、広域化などを計画的に進めるため、厚生労働省及び国土交通省に対し、水道施設整備費国庫補助金及び生活基盤施設耐震化等交付金について、要望額に対して当初予算での満額措置及び交付金事業の対象範囲の拡大について要望を行った。(平成28年5月)</p> <p>・環境省が国立公園内で計画している外国人観光客の誘致に向けた事業「国立公園満喫プロジェクト」に阿寒国立公園が事業実施地区として選定されるよう働きかけを行った。(平成28年5月、7月)</p> <p>・水道などの社会資本ストックの老朽化対策の推進について、厚生労働省及び国土交通省に対して要望を行った。(平成28年7月)</p> <p>・国立公園内の安全で快適な利用のために、直轄事業による施設整備を推進するよう環境省に要望を行った。(平成28年8月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>環境道民会議企画委員会(H27.10.21)において、NPO等の委員から一般道民等を対象とした「環境道民会議ウインターミーティング」のテーマに関する意見を集約し、「食と環境」をテーマにすることに決定した。これらの意見を受け、地球温暖化によって農業はどのような影響を受けるかやスローフードの取組等についてプログラムを構築し、環境道民会議ウインターミーティングを開催した。(H28.2.10)</p>
------------------	---	--------------------	---

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	環境特性に応じた自然環境の保全と利用の両立、また、野生生物の適正な保護管理を図り、野生生物による生活環境、農林水産業及び生態系への被害減少、外来種による影響抑制、身近な緑や水辺などの自然とのふれあいや、自然と調和した景観の確保に向け、北海道環境政策推進会議などを活用して連携	-	総合政策部政策局研究法人室、人口減少問題対策局地域政策課	・各関係部局において、関連事業の実施により、自然との共生を基本とした環境の保全と創造の実現を目指している。 ・平成28年6月16日に北海道環境政策推進会議を開催し、北海道環境基本計画の目標の達成状況を点検・評価するため、各連携先に各種関連事業の実施状況の報告等を依頼した。 ・現在、各事業の点検・評価中であり、10月中に目的の達成状況を取りまとめ、公表する予定である。
		-	水産林務部水産局水産経営課・水産振興課・漁業管理課、林務局林業木材課・森林計画課・森林整備課・治山課、森林環境局森林活用課・道有林課	
		-	建設部建設政策局維持管理防災課、土木局道路課・河川砂防課、まちづくり局都市計画課・都市環境課	
		-	経済部観光局、産業振興局産業振興課	
		-	農政部生産振興局技術普及課、農村振興局農地整備課・農村整備課	
		-	教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課	
		-	北海道警察生活安全部生活経済課	

-	大気・水環境の保全、改善及び森林の水源涵養機能を含め、流域全体を総合的に捉えた健全な水循環の確保、化学物質等による環境への影響低減に向け、北海道環境政策推進会議などを活用して連携	-	総合政策部政策局土地水対策課、交通政策局交通企画課	<p>・各関係部局において、関連事業の実施により、安全・安心な地域環境の確保を目指している。</p> <p>・平成28年6月16日に北海道環境政策推進会議を開催し、北海道環境基本計画の目標の達成状況を点検・評価するため、各連携先に各種関連事業の実施状況の報告等を依頼した。</p> <p>・現在、各事業の点検・評価中であり、10月中に目的の達成状況を取りまとめ、公表する予定である。</p>
		-	水産林務部水産局水産振興課、林務局治山課	
		-	建設部土木局道路課、まちづくり局都市計画課・都市環境課	
		-	総務部危機対策局原子力安全対策課	
		-	保健福祉部健康安全局地域保健課・食品衛生課	
		-	経済部産業振興局環境・エネルギー室	
		-	農政部食の安全推進局食品政策課、生産振興局畜産振興課・技術普及課・農村整備課	
		-	北海道警察生活安全部生活経済課	
	知床世界自然遺産地域地域管理計画等に基づくモニタリング等の実施について、関係各課と連携し実施	N0701	水産林務部治山課	<p>・水産林務部で河川工作物の改良を予定している羅臼町のモセカルベツ川において、改良前のモニタリングを行うためサケ類の遡上状況調査を実施した。また、建設部管理の羅臼川では河川工作物の改良効果を確認するモニタリング調査を建設部が実施した。調査結果についてはいずれも、知床世界自然遺産地域科学委員会河川工作物AP会議で報告し、関係者間で共有した。</p>
		N0802	建設部維持管理防災課、河川砂防課	
	生物多様性保全計画に基づき、関係部局と連携して、生物多様性保全に関わる施策(森林や河川の保全、自然と共生する農耕地の整備等)を推進	N0601	農政部食品政策課	<p>・多様な樹種・樹齢で構成された森林の造成面積[56万ha(H23) 58万ha(H26)]が増加するとともに、クリーン農業に取り組む生産集団数[390生産集団(H24) 407生産集団(H27)]や有機農業の取り組む農家戸数[341戸(H24) 726戸(H26)]が増加し、生物多様性の保全に配慮した森林施業の実施や自然と共生する農耕地の整備が行われ、生物多様性の保全に資する取組が進められた。</p>
		N0701	水産林務部森林計画課	
		N0802	建設部河川砂防課	
-	水道事業が抱える課題(人口減少・水需要の低下に伴う料金収入の減少、老朽化した水道施設の更新など)への有効な対応策である広域化(水道事業者間の事業統合や水道施設管理の共同委託など)の推進に向けた連携	-	総合政策部地域主権・行政局市町村課	<p>・総合政策部市町村課と連携し、「水道事業の広域化に関する取組方針」を定め、広域連携を促進し、経営基盤の強化が進むよう、水道事業体の規模等に応じた助言を行うとともに、3地域で勉強会等を実施したところであり、今後、6地域において地域別会議を開催し、広域連携や経営基盤強化の必要性等について説明し、広域化の推進を図る予定である。</p>
	水資源の保全に向け、総合政策部と連携して取り組みを進める。	N0201	総合政策部土地水対策課	<p>水資源保全地域の指定に際しては、関係部による関係法令等に基づく確認を行うなど連携・協力をを行い、水資源の保全のための適正な土地利用の確保を図っている。</p>

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3 - 2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37					
大気環境基準達成率		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	B	評価年度	H26	二酸化硫黄64局、二酸化窒素79局は全局で達成したものの、浮遊粒子状物質は67局中1局で未達成となった。しかしながら、ばい煙発生施設等への立入検査や各主体における環境保全への配慮などにより目標達成にむけて効果が現れている。
		基準値	100%	目標値	100%	最終目標値	100%	年度	H26	H27	進捗率	
[指標の説明] 大気環境の状況を示す指標(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の環境基準の達成割合) (環境基準達成局数 / 大気汚染測定局数)	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	100.0	100.0	100.0			
北海道総合計画 環境基本計画[第2次計画] 改定版	増加			$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	99.5	-	99.5			
						達成率	99.5	-	99.5%			

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37					
水質環境基準達成率		基準年度	H26	年度	H28	最終年度	H37	達成度合	A	評価年度	H27	262の類型指定水域中、243水域で環境基準を達成したことから、H27目標値は達成した。水質汚濁防止法に基づく立入検査、指導や浄化槽の整備などの効果が現れている。
		基準値	91.6%	目標値	93.1%	最終目標値	100%	年度	H27	H28	進捗率	
[指標の説明] 水環境の状況を示す指標(環境基準の類型当てはめをしている公共用水域(河川、湖沼、海域))の環境基準達成割合 (環境基準達成地点数 / 水質測定地点数)	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	92.4	93.1	100.0			
北海道総合計画 環境基本計画[第2次計画] 改定版	増加			$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	92.7	-	92.7			
						達成率	100.3%	-	92.7%			

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H34					
上水道の基幹管路の耐震適合率		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H34	達成度合	B	評価年度	H26	水道施設の耐震化事業の実施により、基幹管路の耐震化適合率は着実に増加しており、目標の達成に向けて、概ね順調に推移している。
		基準値	39.9%	目標値	43.3%	最終目標値	50%	年度	H26	H27	進捗率	
[指標の説明] 主要な管路における耐震適合性のある管路の割合 (耐震適合性のある基幹管路の延長) / (基幹管路の総延長)	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	41.0	42.1	50.0			
北海道強靱化計画	増加			$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100$		実績値	40.4	-	40.4			
						達成率	98.5%	-	80.8%			

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
		基準年度		年度		最終年度						
[指標の説明]		基準年度		年度		最終年度		達成度合		評価年度		達成度合の分析 ほか
		基準値		目標値		最終目標値		年度	H27	H28	進捗率	
根拠計画	達成率の算式		達成率の算式		目標値							
						実績値						
						達成率						

本施策に成果指標を設定できない理由								判定 (直近の達成率(%))	A	B	C	D	-	結果
								100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可		
主要指標								1	1					
関連指標									1					

Plan 施策推進計画(事務事業) (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2)

Do and Check 事務事業評価

4 事務事業の設定

4 - 2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定(P)										事務事業評価(C)							
					平成28年度					総合 戦略	強 靱 化	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	重 点 事 業	地 域 重 点	一次政策評価							
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項			必要な 見直し	予算	サー ビ ス	方 向 性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費							H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)				
03030500		公害パトロー ル車整備費	振興局における公害パトロー ル車の整備に係る経費 (車輛購入、車検費用、消耗 品等)	環境政策 課	1,232	0.1	0.2	0.3	2,474	3,706								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03030799		環境政策課総 合調整等業務	議会対応、予算等の内部管理 事務、審議会等運営事務、権 限移譲関連事務、各種表彰事 務、関係団体等指導事務など	環境政策 課	0	7.2	0.0	7.2	59,364	59,364								-	継続(現状維 持)	現状維持		
03030999		北海道環境基 本計画に関する 事務	環境基本計画に係る点検・評 価事務及び環境基本計画の見 直し等に係る事務	環境政策 課	0	2.2	0.0	2.2	18,139	18,139								-	継続(現状維 持)	現状維持		
03031000		環境影響審査 指導費	環境影響評価条例に基づく、 環境影響評価の審査及び条例 対象事業の事前指導、環境影 響評価法に基づく調査・指導 のための事務	環境政策 課	3,005	7.2	0.0	7.2	59,364	62,369								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03031100		特定開発行為 規制指導費	自然環境保全条例に基づく、 1ha以上の規模でかつ関係 法令等の規制対象とならない 特定の開発行為の規制のため の事務	環境政策 課	2,445	0.6	2.4	3.0	24,735	27,180								継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	現状維持		
03031500		公害防止推進 費	公害苦情及び公害防止管理者 等に係る業務	環境政策 課	172	0.5	2.6	3.1	25,560	25,732								継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	現状維持		
03031600		公害環境保全 費	伊達地方監視室で所有してい る公用車の維持管理に関する 事務	環境政策 課	108	0.0	0.1	0.1	825	933								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03031700	主	大気汚染対策 費	ばい煙発生施設等の監視指導 や大気環境の常時監視等に係 る業務	環境政策 課	87,173	2.1	15.4	17.5	144,288	231,461								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03031800		石綿健康被害 救済基金拠出 金	石綿被害者救済法により設け られた石綿被害救済基金への 拠出金に要する経費	環境政策 課	32,040	0.1	2.7	2.8	23,086	55,126								終了	継続(現状維 持)	現状維持		
03031900		化学物質対策 費	ガイジン特措法、PRTRに基 づく業務等	環境政策 課	18,354	0.9	5.9	6.8	56,066	74,420								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03032000		騒音・振動・ 悪臭対策費	騒音規制法、振動規制法、悪 臭防止法に基づく業務	環境政策 課	1,841	0.9	1.3	2.2	18,139	19,980								継続(縮小)	継続(現状維 持)	縮小		
03032100	主	公害対策受託 調査費	公害の状況の把握を行うため の業務	環境政策 課	7,963	0.7	0.0	0.7	5,772	13,735								継続(現状維 持)	継続(現状維 持)	現状維持		
03032299	主	公害防止協定 に関する事務	公害防止協定の締結、運用に 関する事務全般	環境政策 課	0	0.3	1.2	1.5	12,368	12,368								-	継続(現状維 持)	現状維持		
03032399	主	脱スパイクタ イヤ対策に関 する事務	スパイクタイヤ粉じん防止法 及び脱スパイクタイヤ推進条 例の運用などに関する事務全 般	環境政策 課	0	0.1	0.0	0.1	825	825								-	継続(現状維 持)	現状維持		

業務目標の設定 (P)														事務事業評価 (C)									
H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価								
					事業費 (千円)	執行体制(人工)									フルコスト	重点点検事項				必要 な 見 直 し	予算	サー ビス	方向 性
						本庁	出 先 機 関	人工	人件費							H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期				
03032400	主	水質汚濁対策費	水質汚濁防止法に基づく業務(公共用水域・地下水の常時監視、特定事業場排水対策など)、環境基本法に基づく業務(水域類型指定)、健全な水循環の確保に関する業務など水環境保全に関する事務	環境政策課	79,390	2.9	6.0	8.9	73,381	152,771									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
03032599	主	法及び条例に基づく緊急時及び事故時対応事務	水質事故等における危機管理対応業務	環境政策課	0	0.1	0.2	0.3	2,474	2,474									-	継続(現状維持)	現状維持		
03032699	主	水質汚濁に係る上乗せ排水基準の設定に関すること	排水基準上乗せに関する道条例の設定及び見直しに係る業務	環境政策課	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状維持)	現状維持		
03032700		土壌汚染対策事業費	土壌汚染対策法に基づく業務	環境政策課	417	3.0	0.0	3.0	24,735	25,152									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
03032899		地下水の硝酸性・亜硝酸性窒素等の対策に関すること	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による、地下水汚染の改善を図る業務	環境政策課	0	0.1	0.1	0.2	1,649	1,649									-	継続(現状維持)	現状維持		
03032999	主	水道水源保全対策に関すること	良好な水道水源を将来にわたって保全し、総合的な水道水源の保全対策の推進	環境政策課	0	0.1	0.1	0.2	1,649	1,649									-	継続(現状維持)	現状維持		
03033099		遊泳用プールに係る衛生管理関係事務	遊泳用プールに係る、衛生指導	環境政策課	0	0.1	1.0	1.1	9,070	9,070									-	継続(現状維持)	現状維持		
03033100	関	水道施設管理指導費	・水道法に基づく水道事業等の現地指導や水道施設の維持管理指導、簡易専用水道に関する検査、指導 ・道の水道行政の基本的指針となる「水道ビジョン」、 「水道整備基本構想」の促進に係る業務	環境政策課	2,569	3.5	1.7	5.2	42,874	45,443									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
03033200		水道施設指導監督費	水道施設整備費等国庫補助事業の指導監督事務	環境政策課	2,426	1.3	1.3	2.6	21,437	23,863									継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小		
03033399		石狩東部広域水道企業団出資金	石狩東部広域水道企業団に係る出資金等事務	環境政策課	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状維持)	現状維持		
03033499		石狩西部広域水道企業団に関する事務	石狩西部広域水道企業団に係る事務	環境政策課	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状維持)	現状維持		
03033500		水質衛生検査費	水質検査機器の整備	環境政策課	13,735	0.2	0.0	0.2	1,649	15,384									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
03033600		水道施設指導監督費(生活基盤施設耐震化等交付金事業)	国から交付される生活基盤施設耐震化等交付金を活用し、水道施設の耐震化や水道事業の広域化等の事業を実施する市町村等への補助業務	環境政策課	1,568,388	1.0	0.0	1.0	8,245	1,576,633									継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持		
03033799		独立行政法人環境再生保全機構との受託業務に関する事務	救済給付業務委託契約・請求事務申請に係る法律の周知	環境政策課	0	0.1	0.0	0.1	825	825									-	継続(現状維持)	現状維持		

施策名	自然環境及び生活環境の保全	施策コード	03	01
-----	---------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	自然環境及び生活環境の保全	施策コード	03-01
-----	---------------	-------	-------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)						二次政策評価			主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
03030500	公害パトロール車整備費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03030799	環境政策課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03030999	北海道環境基本計画に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03031000	環境影響審査指導費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03031100	特定開発行為規制指導費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03031500	公害防止推進費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
03031600	公害環境保全費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		現状維持	
03031700	大気汚染対策費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03031800	石綿健康被害救済基金拠出金					終了	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03031900	化学物質対策費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03032000	騒音・振動・悪臭対策費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		拡充	
03032100	公害対策受託調査費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		縮小	
03032299	公害防止協定に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03032399	脱スパイクタイヤ対策に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03032400	水質汚濁対策費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03032599	法及び条例に基づく緊急時及び事故時対応事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03032699	水質汚濁に係る上乗せ排水基準の設定に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
03032700	土壌汚染対策事業費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03032899	地下水の硝酸性・亜硝酸性窒素等の対策に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03032999	水道水源保全対策に関すること					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033099	遊泳用プールに係る衛生管理関係事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033100	水道施設管理指導費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03033200	水道施設指導監督費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03033399	石狩東部広域水道企業団出資金					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033499	石狩西部広域水道企業団に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033500	水質衛生検査費					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033600	水道施設指導監督費(生活基盤施設耐震化等交付金事業)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033799	独立行政法人環境再生保全機構との受託業務に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03033899	アスベスト対策に関する業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03050100	自然公園保全費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050200	自然公園計画策定費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050400	自然環境諸費(国定公園パトロール車)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050500	自然環境保全監視費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050600	自然公園美化活動推進事業費補助金					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050700	自然公園整備事業費(維持管理費・管理費)					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	
03050800	自然公園施設整備費					継続(縮小)	継続(現状維持)	縮小	縮小		縮小	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
03050900	自然公園整備費(春国岱園地木道復旧工事)					終了	終了	終了	終了		終了	
03051099	国立公園整備事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03051100	知床地域自然環境保全管理費					継続(拡充)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
03051799	生物多様性保全課総合調整等業務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	自然環境及び生活環境の保全	施策コード	03	01
-----	---------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p><新たな取組等> 自然公園の適正な利用のため、平成28年8月の台風により被災した道有施設の復旧のほか、旭岳ビジターセンターを始め公衆便所等の維持管理を実施するとともに「知床の日」の一層の普及啓発の展開など、知床世界自然遺産を始めとする優れた自然環境の保全を図る。 自然公園整備事業費、自然公園施設整備費 知床地域自然環境保全管理費 など</p>
	<p><廃止・縮小、見直しを行った取組> 安全・安心な地域環境の確保等の施策は順調に推進できていることから、事業の効率化や経費の節減を図りながら引き続き施策を推進する。 大気汚染対策費 水質汚濁対策費 など</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	自然環境及び生活環境の保全	施策コード	03	01
-----	---------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	0 事業	0 事業	23 事業	16 事業	0 事業	0 事業	1 事業	40 事業
反映結果	0 事業	1 事業	22 事業	16 事業	0 事業	0 事業	1 事業	40 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
0 事業